

普及活動情勢報告（令和４年３月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

県版 HACCP 第２ステージ申請に向けて ～JA 高知市女性部鏡支部加工部チーム会～



衛生管理について確認中

JA 高知市女性部鏡支部加工部は、「冷凍塩漬けイタドリ」の県版 HACCP 第２ステージ申請に向けて定期的にチーム会を開催しています。３月４日は部員５名が集まり、申請前の最終確認を行いました。

申請に必要なチェックリストをもとに、普及所が施設の清掃や、衛生教育、食品の扱い方等について確認した後、記録表への記載方法について話し合いました。参加者からは、「記録するものも多いけど、がんばろう！」との声があがりました。

普及所は、今後も関係機関と共に加工部の商品力向上に向けた取組の支援を行っていきます。

より良い農業生産を目指して～GAP 現地点検の実施～



現地にて改善状況を確認中

３月４日及び１０日に２戸の生産者ほ場で GAP 現地点検を行いました。日頃の作業の中で危険となる箇所がないかや農産物が汚染されるリスクがないかなどを生産者と一緒に確認し、改善方法について検討しました。生産者からは、「GAP の取り組みにより経営者だけではなく、従業員の労働環境の改善にもつながるため、今後も取り組んでいきたい」といった前向きな意見がありました。

普及所では今後も継続して、労働環境の改善や食品安全につながる GAP の取り組みを支援していきます。

促成も後作も頑張りましょう！ ～ナス現地検討会～



試験の中間報告をする様子

３月４日、春野地区において、ナス部会の現地検討会が行われ、１０名の生産者が参加しました。

管内のナス生産者は、受粉用のハチを必要とせず、作業が楽になる単為結果の品種に注目しています。そこで、普及所では、単為結果性を持つ有望品種に関する試験を実施しています。今回、中間報告を行ったところ、生産者からは、適切な主枝本数やかん水管理についての質問があり、来作に向けての検討も進んでいるようでした。

今後も普及所は、JA と協力し、個別巡回や情報提供を通じて、ナス部会を支援していきます。

「よさ恋美人」の早期出荷を目指す！ ～「よさ恋美人」の収穫期前進化の実証～



育苗中の「よさ恋美人」

普及所では、「よさ恋美人」を単価が高い7月25日までに出荷するため、中苗移植による収穫期前進化に取り組んでいます。

令和3年度の実証試験では、中苗および稚苗移植で比較したところ、中苗移植が2日早く(7月24日)収穫できました。

令和4年度には、施肥方法を検討し、中苗移植による収穫期前進化に取り組む予定で、現在、実証試験に用いる中苗の育苗を行っています。

今後、普及所では、実証ほを利用した現地検討会等を開催し、「よさ恋美人」の収穫期前進化技術を周知し、栽培面積拡大に取り組んでいきます。